

令和3年度 富島中学校「学校評価アンケート」のまとめ

令和4年2月3日
日向市立富島中学校

2学期末（12月10日～20日）に、「学校評価アンケート」を依頼したところ、快く協力していただきましてありがとうございました。
アンケートの集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

〈アンケートの回収率〉

	1年	2年	3年
生徒	87.8 % (93.5%)	92.8% (96.5%)	89.9 % (93.4%)
保護者	84.3 % (74.1%)	78.7% (82.2%)	81.8 % (83.0%)

※ アンケートの各項目は、保護者向けを使用しています。

◆ アンケート結果の総括

全体的には、どの項目も肯定的な回答が多く、学校における日常的な指導を積み重ねてきたことが評価されたものと感じます。しかし、次の分析結果にあるように多くの課題が残されておりますので、アンケートの結果やご意見を参考にしながら、今年度の教育活動を振り返るとともに、今後の重点目標等を設定し、次年度の学校教育活動に活かしていきたいと思っております。

○ よい評価項目（※アンケートの項目は要約しています。）

「1 楽しい学校生活」の項目では、どの対象（生徒・保護者・教職員）も肯定的な回答が90%以上にのびりました。また、「10 生活習慣や社会性・規範意識の指導」と「11 安全教育」の2つの項目では、肯定的な回答がいずれも90%近い結果になっています。

○ 課題となる評価項目

「5 生徒の学習意欲」「9 いじめなどがない学校づくり」「12 キャリア教育への取組」の3項目では、生徒・保護者ともに30%弱が否定的な回答をしています。

○ 昨年度の評価との比較

「11 安全教育」の項目では、昨年度より若干ではありますが、評価が上がっています。

課題となる評価になったのは、「5 生徒の学習意欲」「7 様々な活動を取り入れた授業」「8 宅習や課題等の家庭学習の手立て」の3項目で若干ではありますが、評価が下がっています。

○ 生徒・保護者と教職員との認識のズレ

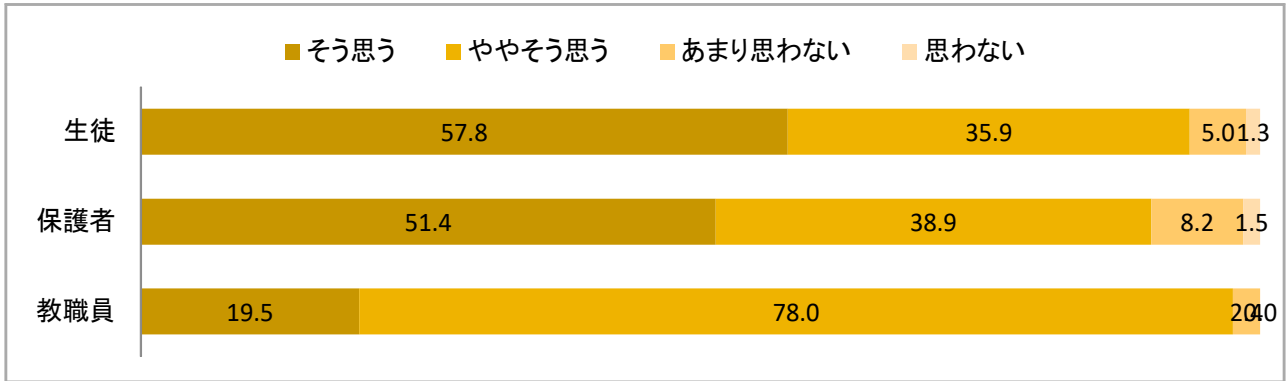
「3 生徒や保護者からの相談」「4 環境美化」「9 いじめなどがない学校」の3項目は、いずれも生徒・保護者の評価が低く、教職員の評価が高いという結果でした。

以下、項目ごとの分析結果を掲載していますので、ご確認ください。

◆ 項目ごとの分析結果

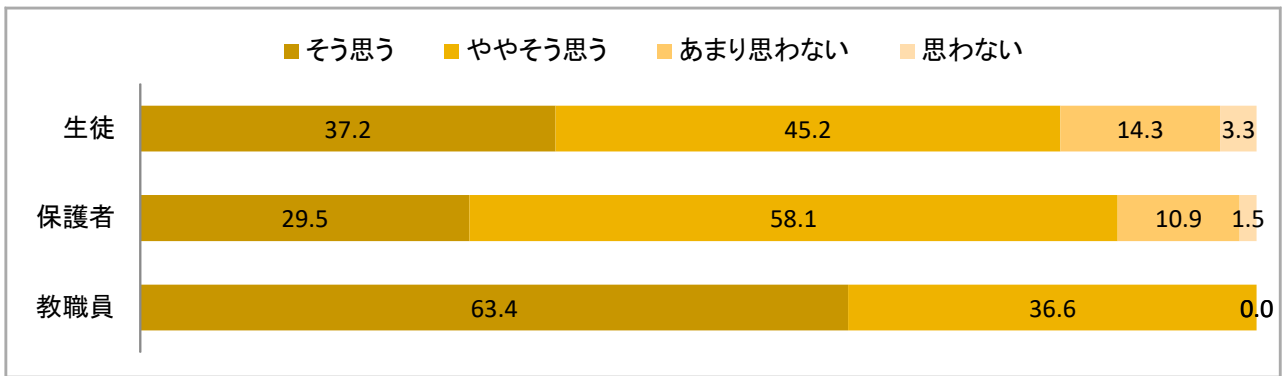
○ 学校運営に関する項目

1 「子どもさんは、楽しく学校生活を送っていると思いますか」



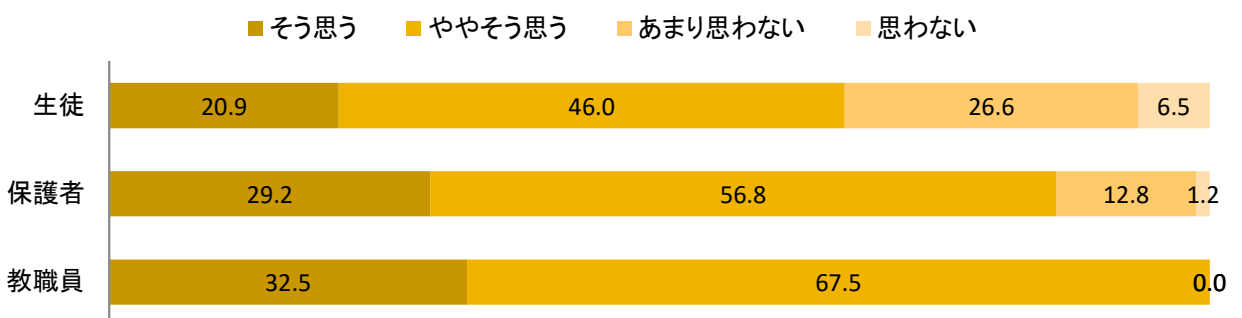
おおむね楽しい学校生活を送れているようであるが、生徒の6.3%（昨年度8%）、保護者の9.7%（同9%）が「あまり思わない、思わない」と回答している。
 今後も学校行事や授業の進め方、学級経営の在り方等、生徒が満足できる学校生活を送ることのできる学校運営の改善に更に努めていきます。

2 「学校は、『学校だより』やHP、学級通信等により、家庭や地域に情報発信を積極的に行っていると思いますか」



学校からHP（ホームページ）を始め、通信等で様々な情報発信をしているつもりであるが、生徒の17.6%（昨年度12%）、保護者の約12.4%（同10%）が「あまり思わない、思わない」と回答している。
 情報発信の在り方や内容を検討し、改善に努めていくとともに、配付したプリント類が保護者の手元に確実に届くよう、生徒への働きかけも行っていきます。

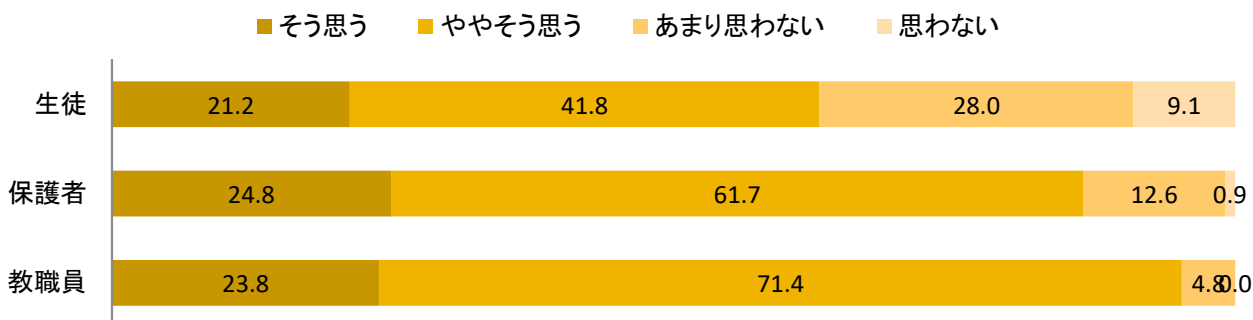
3 「学校は、生徒や保護者からの相談に適切に応じていると思いますか」



生徒の33.1%（昨年度31%）、保護者の14%（同21%）が「あまり思わない、思わない」と回答している。

この結果を真摯に受け止め、一層生徒や保護者からの相談に対して丁寧に対応する体制づくりや校内における教育相談の充実、時間の確保に努めていきます。

4 「学校は、危険箇所の把握や修理、環境美化に積極的に取り組んでいると思いますか」

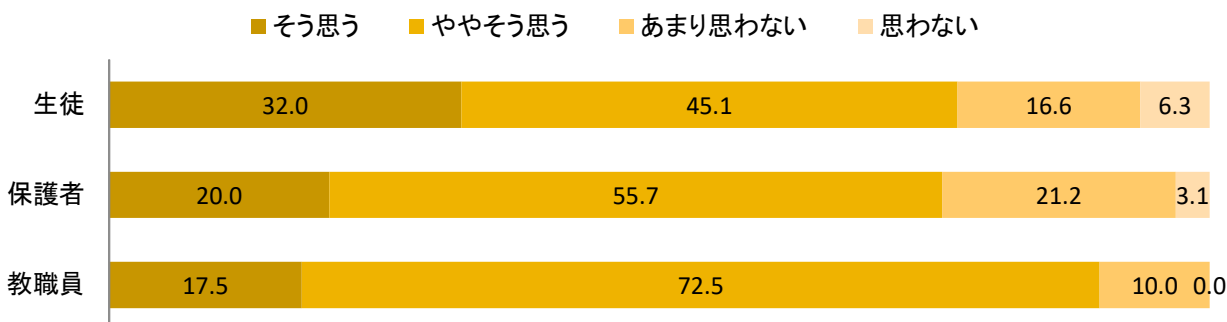


生徒の37.1%（昨年度34%）、保護者の13.5%（同15%）が「あまり思わない、思わない」と回答している。

今年度も、予算の範囲内でできる限りの改善に取り組んでおり、トイレや床の張り替え等については市にも要望を出している。今年度は、3棟入り口の渡り廊下のスロープや同棟の階段手すりの取付を実現できました。これからも積極的に環境美化に努めるとともに、市教育委員会と連携して施設の整備に努めていきます。

○ 学習指導に関する項目

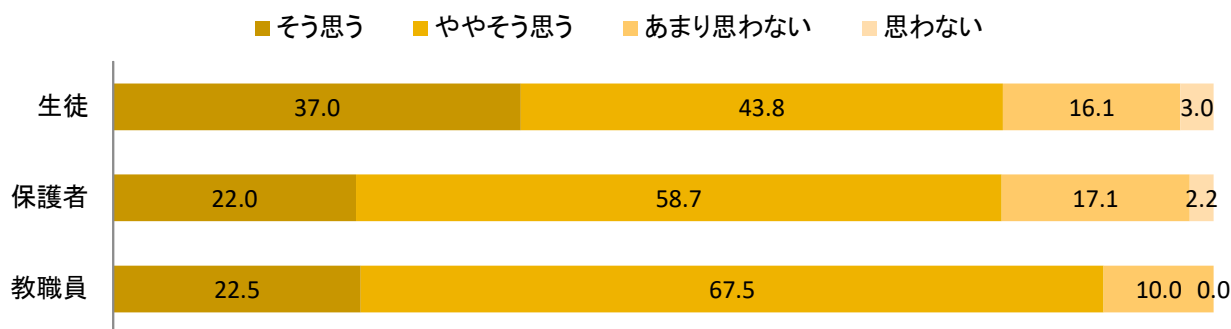
5 「先生方は、生徒の学習意欲が高まる授業に取り組んでいると思いますか」



生徒77.1%（昨年度85%）と保護者75.7%（同80%）が「そう思う、ややそう思う」と回答している。

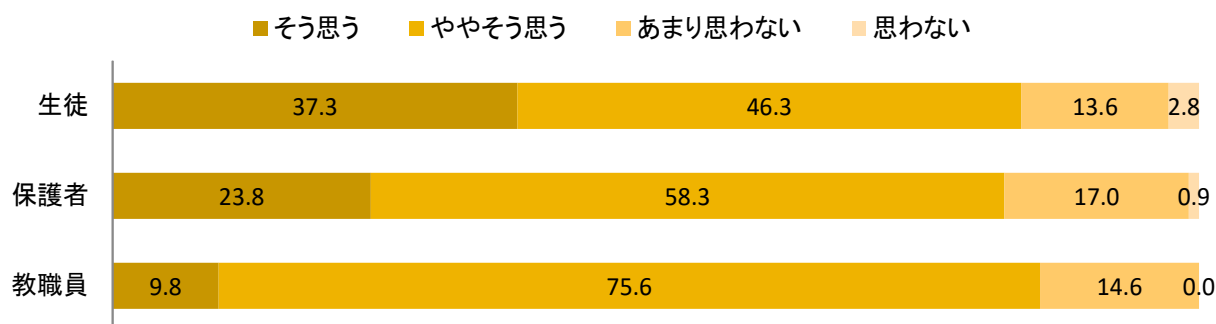
今年度は重点支援校として「生徒が主体的に学ぶことができるための授業づくり」を研究テーマとして、授業改善に取り組んでいる。特に、タブレット等のICT機器の活用や話し合い活動を取り入れた工夫など生徒の興味・関心を高める授業を目指している。今後も、さらに学習成果の出る授業の工夫に努めていきます。

6 「先生方は、分かりやすい授業に取り組んでいると思いますか」



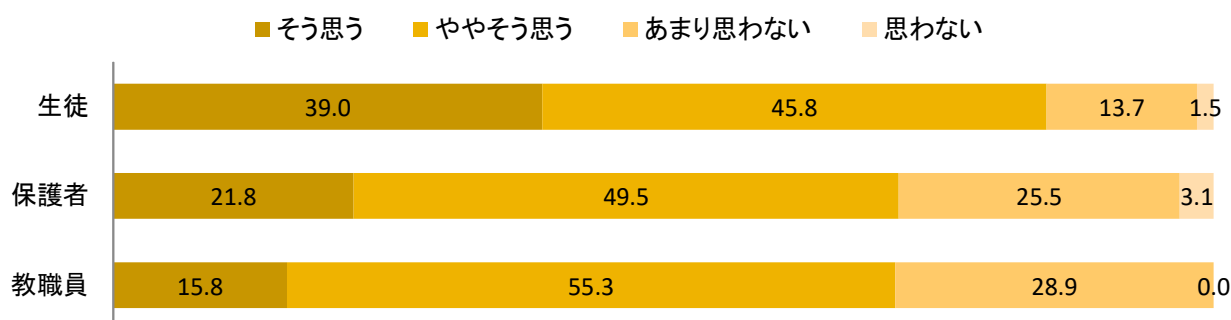
生徒（昨年度90%）、保護者（同79%）ともに80%程度が「そう思う、ややそう思う」と回答している。
 今年度も、学年ごとに生徒の実態を分析し、全教科で共通した具体的な手立てを講じるよう工夫している。また、学期ごとに生徒による授業評価を実施し、その結果に基づいた授業改善にも取り組んでいる。
 今後も授業の改善とともに、個別指導の充実にも取り組んでいきます。

7 「先生方は、自ら考え話し合い、発表する活動など様々な活動を取り入れた授業に取り組んでいると思いますか」



生徒の83%、保護者の82%が「そう思う、ややそう思う」と回答している（昨年度とほぼ同じ）。
 5・6で述べたように、授業の工夫改善に努めてきた。今後も学習課題（授業のめあて）の提示や発問（生徒への質問・問いかけ）の仕方、指導過程（授業の流れ）の工夫に努めていきたい。また、話し合い活動やペア学習等、学習効果を高める活動を積極的に取り入れ、学習活動の充実に努めます。

8 「先生方は、宅習や課題等の家庭学習の手だてを行っていると思いますか」

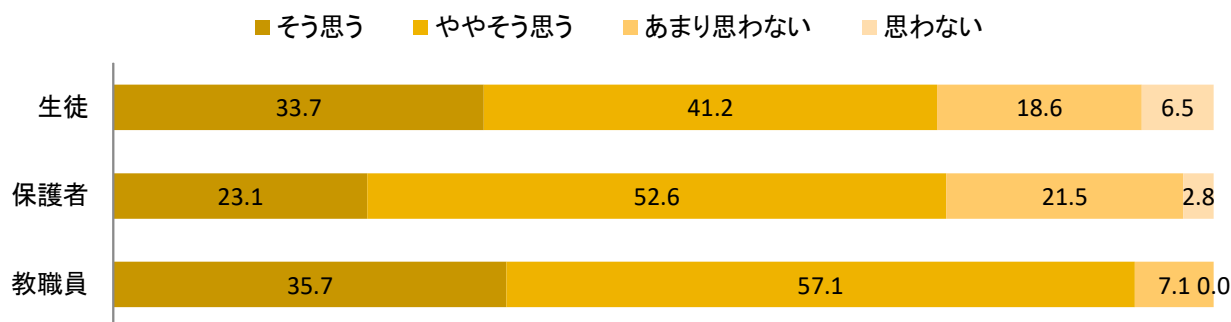


生徒の84.8%（昨年度ほぼ同じ）が「そう思う、ややそう思う」と回答している反面、保護者の28%（同27%）が「あまり思わない、思わない」と回答している。

毎日の課題や宅習、週末課題の内容の充実と事後の見届けを通して、今後も家庭学習の充実に向けていきます。また、本年度から取り組んでいる「ノーメディアタイム」を通して、家庭と連携を取りながら学習時間の確保に努めていきます。

○ 生徒指導に関する項目

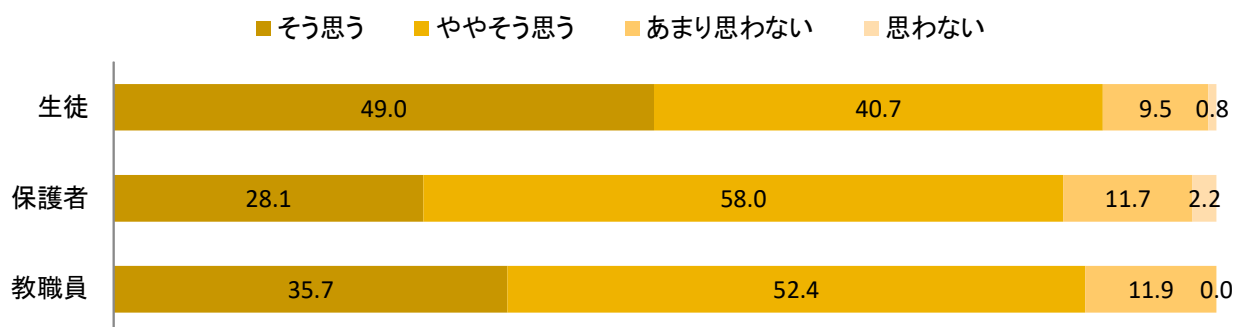
9 「学校は、いじめなどがなく明るく楽しい学校づくりに取り組んでいると思いますか」



生徒、保護者ともに約75%が「そう思う、ややそう思う」と回答している。（昨年度、生徒79%、保護者74%）

昨年度とほぼ同じ結果になっていることを謙虚に受け止め、今後も毎日の生徒とのコミュニケーションや「生活の記録」、毎月のいじめアンケート等を通して、いじめやトラブルの早期発見とその解決に努めます。また、道徳の時間や日常生活の中で人権意識の高揚に取り組むとともに、学校行事や生徒会活動等の充実を図り、生徒が学校生活の中で充実感や達成感を実感できるような場面を設けて行きます。

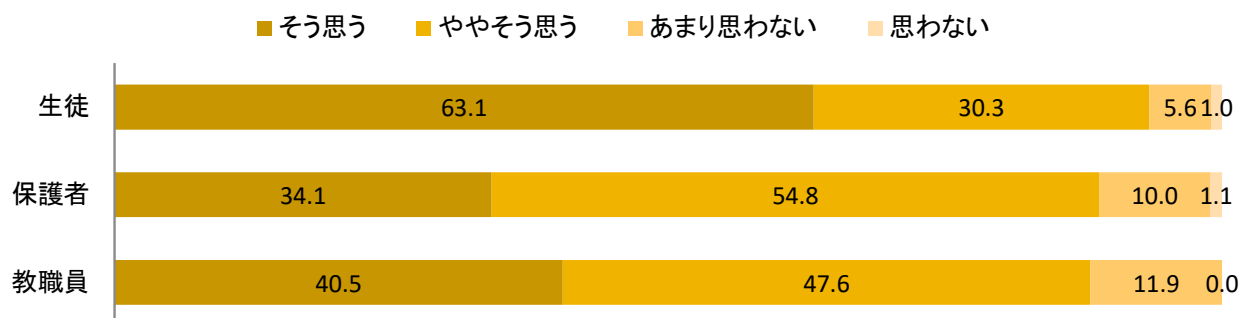
10 「学校は、生徒に集団における生活習慣や社会性・規範意識を身に付けさせる指導を行っていると思いますか」



生徒と保護者の約85%超（昨年度ほぼ同じ）が「そう思う、ややそう思う」と回答している。

今後も教育活動全般を通して、集団における生活習慣や社会性・規範意識が身に付くよう、継続して指導していきます。

11 「学校は、避難訓練や登下校指導等の交通安全指導、熱中症予防等の安全教育を積極的に行っていると思いますか」

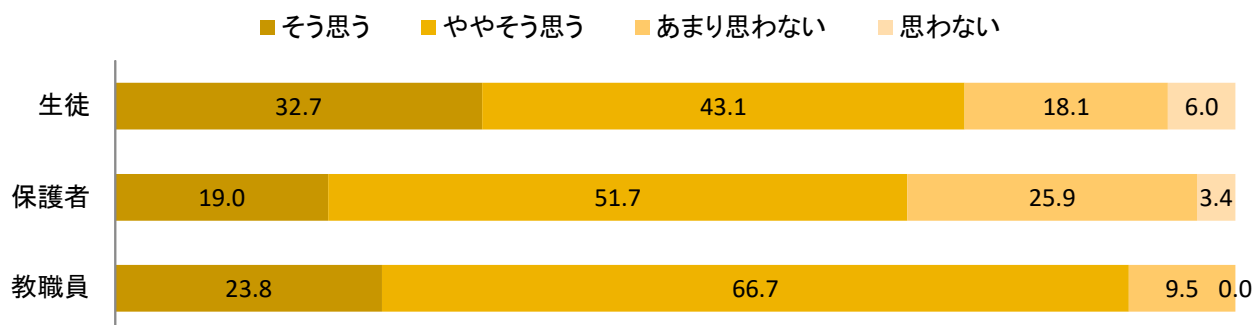


生徒の93%、保護者の89%が「そう思う、ややそう思う」と回答している。(ともに昨年度とほぼ同じ)

今後も計画的に避難訓練や交通安全指導、安全教育を当事者意識をもたせて実施していきます。また、当面の間はマスク着用や手指の消毒等、引き続き啓発・指導を重ねていきます。

○ キャリア教育・特別活動等に関する項目

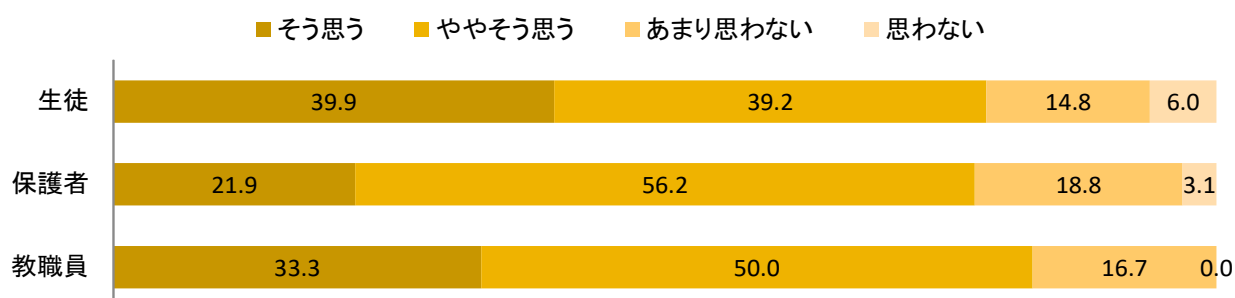
12 「学校は、生徒に将来の夢や目標がもてるようなキャリア教育に積極的に取り組んでいると思いますか」



生徒の75.8% (昨年度83%)、保護者の70.7% (同70%) が「そう思う、ややそう思う」と回答している。

生徒一人一人が将来の夢や目標をもって生活を送れるようキャリア教育の推進に努めています。また、本年度から導入された「キャリアパスポート」の作成通じて、将来について考える機会の設定や学習活動の充実に努めます。

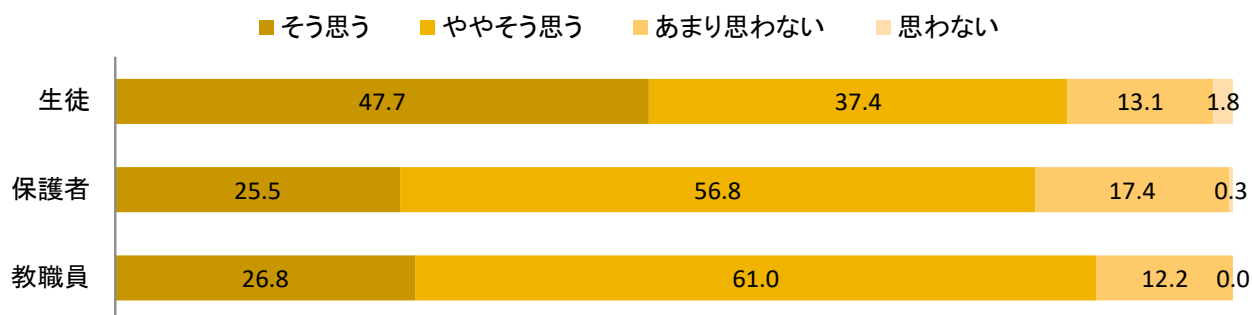
13 「学校は、人を思いやる気持ちや人を差別しない心を育てる人権教育の充実に取り組んでいると思いますか」



生徒の79.1%（昨年度86%）、保護者の78.1%（同74%）が「そう思う、ややそう思う」と回答している。

人権教育の視点に立った日常的な指導や道徳の時間の充実の他、人権週間の取組や講演会の実施、生徒会活動の充実等を図りながら、教育活動全般を通じた人権意識の高揚に努めます。また、人権尊重に関する職員研修の充実にも努めます。

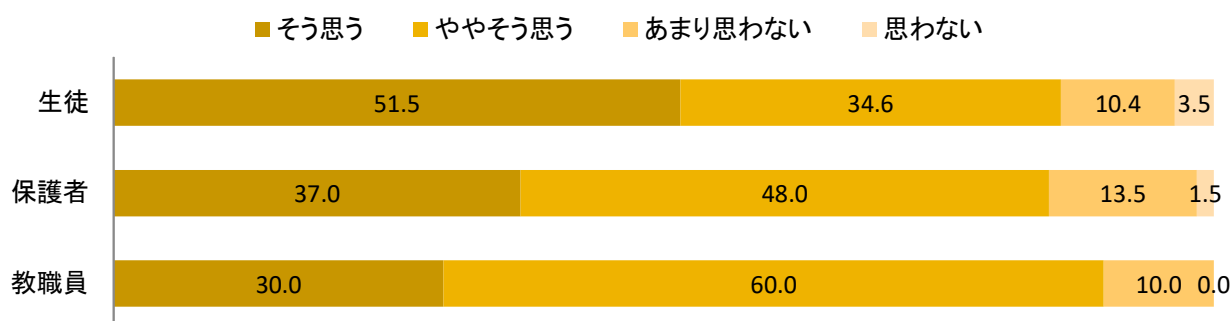
14 「生徒会活動やボランティア活動は、生徒の自主的・主体的な活動になっていると思いますか」



生徒の85.1%（昨年度89%）、保護者の82.3%（同82%）が「そう思う、ややそう思う」と回答している。

全校生徒をあげての年間の取組として、月1度の「通学路ピカピカ大作戦」や「ペットボトルキャップの回収活動」を行っている。また、本年度より、生徒会執行部が校区内の小学校を訪問し、「小中あいさつ運動」を実施している。さらに生徒の自主的な活動が充実するよう、学校としても支援を行っていきます。

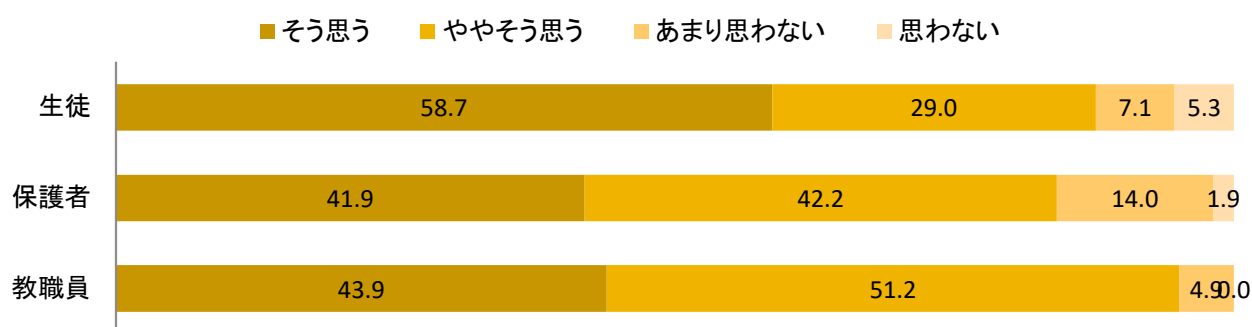
15 「子どもさんは、体育大会や合唱コンクールなど学校行事に、生き生きと取り組み、達成感や成就感を得ていると思いますか」



生徒と保護者の約85%（昨年度約80%）が「そう思う、ややそう思う」と回答しており、おおむね学校行事で達成感や成就感を感じていることが推測される。

昨年度に引き続き今年度も、コロナ禍で合唱コンクール等の学校行事が中止となったが、体育大会や修学旅行は規模の縮小や変更はあったものの実施できたことが大きかったと思われる。コロナの収束を願いながらも、コロナ禍においても生徒が達成感や成就感を得られるような手だての工夫と内容の充実に努めていきます。

16 「部活動は、生徒にとっての人格形成や学校の一体感の醸成等につながっていると思いますか」



生徒の87.7%、保護者の84.1%が「そう思う、ややそう思う」と回答している（昨年度ほぼ同じ）。

本年度もコロナ禍で様々な制限を受けながらも、限られた時間の中で生徒は日々熱心に取り組んでいます。また、中体連等の大会において好成績を収めている部も多くあります。これからも、後援会の協力をいただきながら、生徒の人格形成の場として充実した活動になるよう努めてまいります。